

氏名	高 谷 昌 宏
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 3 1 1 9 号
学位授与の日付	平成 9 年 6 月 3 0 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Immunohistochemical observation of Fas in the human liver : light and electron microscopic observation by immuno-peroxidase method (免疫組織学的手法によるヒト肝臓におけるFas発現の光顕及び電顕観察)
論文審査委員	教授 赤木 忠厚 教授 槇野 博史 教授 原田 実根

### 学位論文内容の要旨

肝組織におけるFasの発現を18例の慢性肝疾患患者(B型慢性肝炎8例, C型慢性肝炎7例, 自己免疫性肝炎2例, 脂肪肝1例)及び2例の転移性肝腫瘍患者の正常肝組織を用いて酵素抗体間接法にて光顕及び電顕レベルで観察を行った。Fasは全例で肝細胞表面に観察された。免疫電顕下の観察ではFas特異的免疫反応産物は肝細胞膜のうち類洞面と肝細胞間腔面に一致して観察され, 毛細胆管面の肝細胞膜には観察されなかった。また, 細胞質内では小胞体に一致して観察された。肝組織炎症が高度若しくは中等度の症例ではFasを強く発現する肝細胞が肝小葉内にび慢性に観察される一方, 肝組織炎症がわずかな症例においては, Fasの発現は弱く, 主として小葉中心性の発現が観察された。本研究によりFasの肝細胞膜への発現が明かとなり, 肝組織炎症の高まった肝組織において発現増強したFasを介した肝細胞障害が引き起こされる可能性を示唆する所見が得られた。

なお, 本論文は共著論文であり, 共著者の協力を得て完成したものである。

### 論文審査結果の要旨

本研究は肝組織におけるFas抗原の発現を、B型およびC型慢性肝炎、自己免疫性肝炎、脂肪肝、正常肝組織を用いて、酵素抗体間接法にて光顕および電顕レベルで観察したものである。Fasは全例で肝細胞表面に観察され、免疫電顕ではFas特異的免疫反応産物は類洞面と肝細胞間腔に面した肝細胞膜に認められた。肝組織炎症が強くなると肝細胞のFas発現は一般的に増強し、小葉中心だけでなく肝小葉周辺にも発現した。肝組織炎症においてFasを介した肝細胞障害が惹起される可能性を示したものであり価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。